

瀬戸内町阿多地集落 集落元気づくりだより

平成 21 年 12 月 20 日
第 2 号

第 2 回 集落元気づくりのための寄合い開催される！

平成 21 年 12 月 13 日（日）に阿多地林業研修集会所で、第 2 回集落元気づくりのための寄合いを開催しました。

阿多地林業研修集会所には、集落住民 4 世帯 5 名、他出者 3 名の方が集まり、今回も熱心な議論がされました。

第一回寄合いに続き、今回は集落元気づくりの取組として考えられるプロジェクト企画を、テーマ別に 2 グループに分かれて話し合い、集落として取り組むべき「集落元気づくり」の骨格を作り上げました。

集落の現況を見つめ直し、将来を予測する中で、新たに見える集落の問題と課題。その共通認識の中から、世代間の意識差を解消し、お互いのやりたいことを調整する作業はみんなが真剣勝負でした。



寄合いに参加された阿多地集落の皆さん

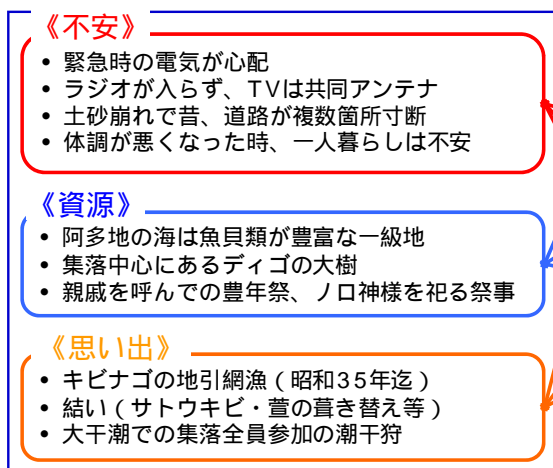
議論されたテーマは

「阿多地の海・海浜を活かした短期滞在プログラム」、
「阿多地の人が集まりたくなる場所の整備」

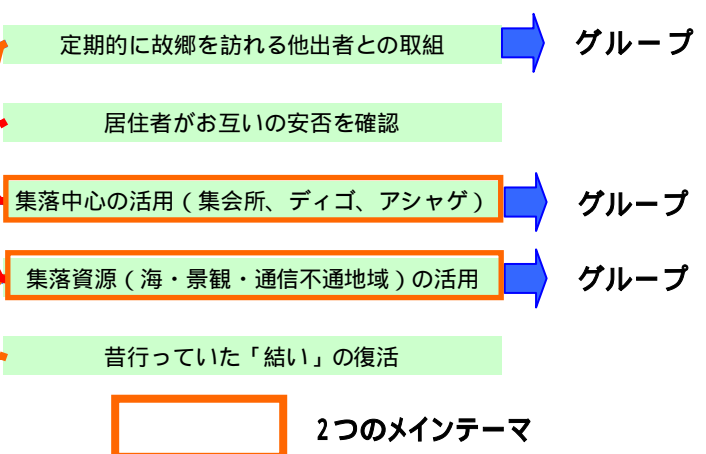
の 2 テーマ！！！！

第一回寄合いにおいて、集落の「不安」と「資源」、「思い出」について議論を行い、議論を通じて見出されたキーワードを分析し、5 つのテーマを選び出しました(下図)。その後 5 つのテーマを、2 つのメインテーマと 3 つのサブテーマに分類しました。

第 1 回寄合いからのキーワード



キーワードより選び出された5つのテーマ



テーマ 「きゅら浜阿多地楽しみ会」

以前の阿多地の海は遠浅で、アワビ、サザエやムール貝等の貝類が豊富に取れていました。しかし、現在は海に入る人はおらず、集落と海とのつながりはなくなりつつあります。ただ、夏になると他出された家族が、海水浴を楽しむために集落を訪れ、集会所や空き家を一時的に借りて滞在しているそうです。

そこで、加計呂麻で一番美しいと言われるこの海を活用した集落活性化の取組を中心に話し合いを進めていきました。

阿多地集落前の海は広いリーフがあり、昔は名瀬市や古仁屋などからも人が来る程、潮干狩りが盛んに行われていました。思い出話では、「潮干狩りは5月の連休頃の時期が一番良くて、家族で出かけた」、「5月の大潮は昼だが12月の大潮は夜なので、いざり漁を行った」、「タコで遊んでいた」などと、海に関する皆さんの思い出話は尽きませんでした。

このような楽しい思い出と、夏場に定期的に訪れ、海で遊ぶ他出家族も一緒に参加でき、海を利用した集落の活性化に向けた取組はないだろうか？と考えていきました。

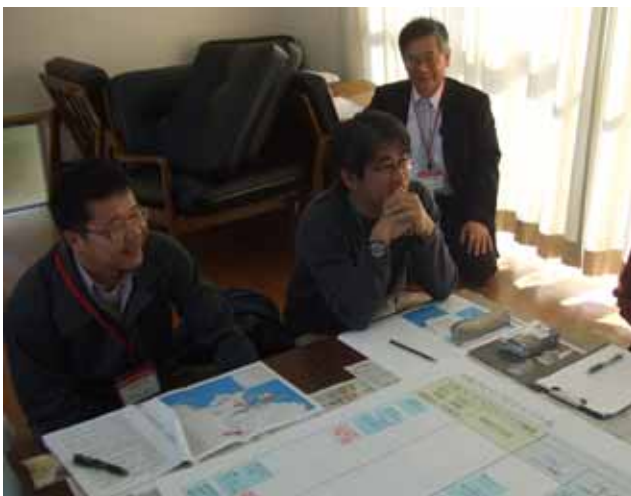
しかし、問題になったのが、果たして他出した人が、そんなに定期的に集落を訪れてくれるだろうかとの不安でした。



笑顔で思い出話をして下さるキクエさんとスエ子さん



思わず考えこむ区長の永井さん



他出2世代の泉さんと長さんから沢山の意見が出ました



話し合いの成果は全てこの中に集約されています

そんな中、古仁屋在住で阿多地出身者の集まりである郷友会に所属する泉さんが、集落来訪者の視点から「大人も子どもも楽しめる取組だと他出者も集まりやすいのではないかと提案。更に区長の永井さんが「豊年祭のように帰ってくるきっかけとなる取組が良い」と、住民・他出者双方の考えを伝え合いました。

こうして、話し合いが進むにつれ、他出者も集落に住んでいる人も全員が楽しめる取組として、潮干狩りを取組の中心にすえ、大勢が集まるのなら、河川清掃も一緒に行おう、とのプロジェクトがまとまりました。

話し合いによりお互いの親密さは増し、「開催の連絡は、瀬戸内町役場の阿多地郷友会の青年部が中心になってはどうか」との連絡調整方法についても話し合われた他、「現在では寸志となっている集会所の利用料金を定額にして集落活動費にする」ことや、「集会所前にテントを張って、集落の備品であるバーベキューセットでもてなそう」などと具体的な提案も飛び出しました。

集会所利用料の具体的な金額までは決まりませんでしたでしたが、今後他出者の人も含めて、引き続き検討していくことになりました。

テーマ 「内も外も、みんなが顔を合わせるプロジェクト」

阿多地集落の中心には「あしやげ」や大きなディゴの木があり、集落のシンボルとなっています。また、ここはバス停があり、移動販売車も止まり、集落の人々が生活する上で自然に訪れる場所となっています。

一方集落では、住民の高齢化や、一人暮らしが増え、健康や買物、災害等生活における不安が増えています。

そこで、集落に暮らす人々が、日々の生活の中で、お互いの安否が確認できる仕組み作りが出来ないものかと話し合いを実施しました。

まず手始めに、集落の実態把握のため、高齢者単独世帯、移動販売車利用世帯、皆さんの外出手段などを地図に記入し、確認しました。その結果、高齢者または1人暮らしは6世帯もあり、自家用車がないため週に1回バスを利用する世帯が3世帯、移動販売も6世帯が利用されていることがわかりました。

一方、古仁屋在住の喜島さんにうかがうと、他出者の帰省は、古仁屋からのフェリーと島内バスの乗り継ぎであり、日帰りだと集落内に4時間しか滞在できず、集落の人とゆっくり話をする時間が取れないとの悩みもわかりました。

現在の状況を確認しながら、お互い顔を良く合わせていた昔のことを思い出すと、集落総出で楽しんだ「夕涼み」や「ゲートボール」等の思い出話に花が咲き、さらには、「そういえばウミガメも来ていたなあ」との発言に、思わず和んだ雰囲気になりました。



話が盛り上がるクニ子さんと迺子さん



他出者の喜島さんは集落地図の作成に大活躍



みなさんの意見をもとに集落地図を作成



話し合いの成果は全てこの中に集約されています

話が進む中で、お互いが顔を合わせることの大切さを参加者一同が感じるようになり、現集会所を利用して、住んでいる人も訪れる人もみんなが集まれる場所にしてはどうかとの提案がなされました。

「ただ集会所を開放するのではなく、みんなで集まって、お茶やお菓子を食べながら話すのが良い」とか、「古仁屋から遊びに来たときに必ず寄りたい」等とプロジェクトは具体化されていきました。

すると日頃から新聞を配りながら、お互いの安否を気遣っている多島さんが、「集会所の鍵は私が借りてきてもいいよ」と意見を言えば、「私もそしたらお茶を飲みに行くよ」とクニ子さん。

このような活発な意見のやりとりを経て、集会所の利用をプロジェクトの柱とすることで意見が一致し、この話し合いの後に、早速始めようとの機運が盛り上がりました。

また、「あしやげの前の旧集会所は集落の中心地であり、海も良く見えて涼しかった」との意見が出ると、皆さん当時のことを思い出し、将来はあそこで「夕涼み」をしたいとの将来構想までまとまりました。



昔、ゲートボールで勝ち取った優勝トロフィー
(阿多地チームは常に上位だった)

寄合いに参加した私の感想

寄合いに参加された皆さんの感想と、私がやってもよい取組として挙げられた意見を紹介いたします。

代表的な感想

- ・ 皆様の話を伺って、自分も話をすることができ、スッキリした気持ちになりました。楽しかったです。
- ・ 一人一人の現状、これからどういうことをしたいんだという、それぞれの考え方が分かり、大変良い話し合いだった。
- ・ この先集落が進んでいく道、目標設定が分かってきた。
- ・ 改まって話すことなく、気取らず話すことができました。身近に感じました。
- ・ 色々とお聞きして参考になりました。これからもこういった寄合いがあると良いです。



力を合わせて作成した阿多地集落内の地図

この取組なら私がやります!!!

《河川清掃・伐採作業等》

若者を集めての草刈りや伐採作業のための連絡と、実際の作業を実施します。

高齢者ばかりなので、若い人が来られた時に、お茶、お漬物持参します。

《他出者との仲介役》

集落の代表として他出者と連絡を取り合い、共通の目的を持ちたい。

《きゅら浜阿多地楽しみ会》

古仁屋・名瀬から来られる方と会って楽しむために、集会所で、皆で集まり、うどんや漬物を作って皆様に提供したい。

鹿児島大学 山田先生の講評

山田誠先生は鹿児島大学で、地域総合政策の分野を研究されており、奄美大島でサテライト教室を開講するなど、地域振興プロジェクトを各地で指導されております。先生の寄合い後の講評です。

今日、2つのグループのお話を伺って、皆さんはこの集落で、どう格好良く生きていくのか、高齢になってもみなさんがあまりしょぼんとしないで、明日何があるか、何をしようかということ、一つ一つ発見していくことが出来たのではないかと思います。内部のここにいる人の力だけだとやれることがすごく小さいですけど、他出している人の力を少し合わせるとすごく大きなものがあって、色んなことが出来るのではないかと、思いました。

今日参加していただいた他出者の方に積極的に協力いただけそうなので、古仁屋の方や名瀬の方がお互いに連絡して、関西の方にも連絡を取り合うことが出来ます。そして、高齢者の方には縁遠いインターネットやデジカメなどを使って、遠くにいる皆さんにもパッとお知らせできる時代になってきています。新しい時代をうまく利用すると高齢者ばかりの集落になっても、元気に面白く楽しくやれる、といったことを発見されたのではないかと思います。

これからこの集落でどんな風に新しい試みがなされるのか期待していますので、どうぞ皆さん頑張って下さい。



寄合い終了後に講評される山田先生